

肺癌の遺伝子発現解析の生物学的特性ならびに診断・治療におけるバイオマーカーに関する研究

1. 研究の対象

2011年11月08日より2025年03月31日に慶應義塾大学病院で治療を受けられた肺癌、胸膜腫瘍・縦隔腫瘍、良性腫瘍を含めた新生物、その他の前癌病変としての炎症性疾患の方

2. 研究目的・方法

慶應義塾大学医学部呼吸器内科学教室および呼吸器外科学教室では、病理学教室と連携し、肺癌や胸膜および縦隔腫瘍について研究しています。具体的には、癌発生の原因となる遺伝子の解析や、増殖や転移などの癌に特徴的にみられる生物学的性質の解明、がんの悪性度(たちの良し悪し)や再発を反映する分子の探求などを行っています。より深く「癌」という病気を理解し、将来の多くの癌患者さんの診断・治療・予防に役立てることを目標として、日々努力を重ねております。

本研究では、癌組織の遺伝情報と正常組織の遺伝情報を比べ、遺伝情報の変化がどのように疾患発症に結びつくかを調べるため、当センターでゲノム解析を行います。

研究実施期間は2025年03月31日までを予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる「検体」として、以下の4つなどについてご提供をお願いしています。

- ①手術で切除され、診断に用いられた腫瘍や肺組織の一部
- ②気管支鏡検査で得られた気道被覆液・気管支洗浄液・肺組織の一部
- ③診療の為に採血された血液の残り、もしくは研究のために採血させて頂く血液
- ④診療の為に採取したリンパ節の一部や尿や胸水などの体腔液の一部

検体の採取に際しては診断に差障りのないように留意して行います。

研究対象となる遺伝子、分子が果たす機能は、現在明らかではありません。そこで、その機能が明らかになった場合、その遺伝子、分子と臨床情報との関連性を調べるためにあなたの診療記録(問診票、診療録、画像、採決結果、生理検査結果など)を使わせていただく場合があります。また将来、この病気の病因、病態に影響すると考えられる新たな遺伝子、分子が見つかった場合には、その遺伝子、分子をさらに詳しく調べることも計画しています。また、他の研究機関との共同研究や他の検査機関での検査を行う可能性もありますが、その際には試料は無記名で匿名化された番号だけで扱い、個人を特定しないように個人情報および検体を適正に管理を行います。

4. 外部への試料・情報の提供

個人情報(プライバシー)は厳重に保護されます。本研究結果は、他の関係者にもれないように取り扱いを慎重に行う必要があります。ご提供いただいた検体は、分析する前に住所・氏名・生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どこの誰の検体なのかがまったく分からないようにした上で管理され、慶應義塾大学医学部呼吸器内科学教室、呼吸器外科学教室あるいは病理学教室にて厳重に保管されます。

5. 研究組織

慶應義塾大学医学部 副島研造

がんセンター東病院 土原一哉

川崎市立川崎病院呼吸器内科 佐山宏一 (部長)

川崎市立井田病院呼吸器内科 西尾和三 (部長)

国際医療福祉大学塩谷病院呼吸器内科 梅田啓 部長

国立病院機構東京医療センター 呼吸器内科 小山田吉孝 (部長)

国家公務員共済連合会立川病院呼吸器内科 黄英文 部長

済生会宇都宮病院呼吸器内科 仲地一郎 部長

佐野厚生総合病院呼吸器内科 井上卓 部長

さいたま市立病院呼吸器内科 館野博喜 部長

東京歯科大学市川総合病院呼吸器内科 寺嶋毅 部長

東京都済生会中央病院 呼吸器内科 中村守男 部長

東海大学八王子病院呼吸器内科 坂巻文雄 部長

日本鋼管病院呼吸器内科 宮尾直樹 部長

日野市立病院呼吸器内科 峰松直人 部長

永寿総合病院 呼吸器内科 斎藤史武 部長

けいゆう病院呼吸器内科 塩見哲也 部長

富士フィルム株式会社 納谷昌之 先端コア技術研究所研究主幹

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

慶應義塾大学医学部呼吸器内科学教室/臨床研究推進センターTR 部門

副島 研造

住所：東京都新宿区信濃町 35

電話番号：03-5363-3793

研究責任者：先端医療開発センター(柏) トランスレーショナルインフォマティクス分
野 土原一哉

研究代表者：慶應義塾大学医学部臨床研究推進センターTR 部門 副島研造